

小学生と考える「北斗市のまちづくり」

第1回

第1回 萩野小学校 6年生のみなさん

考えてもらった地域課題

「町内会・自治会に参加してもらいやすくし、盛り上げるには？」

わたしたちにとって町内会・自治会は、地域住民相互の親睦や生活環境の維持改善のほか、高齢者の見守りや子どもたちの安全対策、災害時の対応など、住みよいまちづくりに重要な役割を担う、もともと身近な存在です。

しかしながら、ライフスタイルの変化、価値観の多様化などにより、全国的にも町内会・自治会への加入率は減少傾向にあります。そこで、町内会・自治会へ加入してもらいやすくなる工夫や、積極的に町内会へ参加して盛り上げる方法を、萩野小学校6年生のみなさんに考えてもらいました。

子どもたちが考えた町内会への加入者を増やす工夫案

- ・ 学校を通じて町内会加入のチラシを配布してもらう。
- ・ 小中学生が書いた絵やポスターを町内会館に貼らせてもらう。
- ・ 町内会加入のパンフレットを、「イフスト+ふきだし」のように、短くわかりやすい構成にして、読みやすくなる。

子どもたちからは、「学校で町内会のチラシをもらえると、自分でも読んで、家族のほか、おじいちゃんやおばあちゃんにも読んでもらうようにはたらきかけることができる。」という意見がありました。

「ポスターを見に町内会館へ」と、どの世代の人も、町内会館へ気軽に足を運んでもらえるきっかけになりそうです。

- ### 町内会活動のPR方法
- ・ 敬老会やお祭りのときに、町内会の1年間の活動をPRする写真やポスターなどを展示してもらう。
 - ・ 広報誌で町内会のイベントを知らせる。

広報紙では、紙面に限りがあるため、すべての町内会のイベントをお

市民協働のまちづくりを進めていくためには、多様化する行政課題を市民のみなさんと共有し、地域の特性を活かした地域住民による主体的活動が大変重要です。広報ほくとでは、次代を担う子どもたちが市民に身近な社会問題や行政課題に関する理解を深め、「わたしたちにもできること」という視点で解決策を話し合い、考えていただいた内容を連載し、市民のみなさんと一緒にまちづくりを考えていきたいと思います。

「総合的な学習の時間」での取組

総合的な学習の時間で「たくさんの方に町内会への関心をもってもらうには」というテーマで学習を進めました。

テーマについて考えるにあたり、YouTubeチャンネル【まるはつちゅ〜ぶ(名古屋市)】で公開されている「もしも町内会がなくなったら・・・」という動画を視聴しました。また、北斗市の町内会では、どのような活動をしているのかを調べるとともに、「町内会があると『楽しい』『便利』『安心できる』ことはなに？」という議題でクラスで意見交換を行いました。



【町内会役員さんに教えていただきました】



児童のみなさんからは、たくさんアイデアが出されました。さらに、「お金の面ではどうか」「来年以降も続けられるか」などの視点でアイデアを選別していき、提案をまとめてもらいました。

また、東前町内会の会長、副会長と意見交換を行い、町内会活動にかかわる質問をしました。コロナ禍でも、人と人がつながり合うまちづくりを進めている様子を聞き、学びを深めていきました。

みんなが考えた地域課題の解決に向けたアイデア

児童のみなさんからは、たくさんアイデアが出されました。さらに、「お金の面ではどうか」「来年以降も続けられるか」などの視点でアイデアを選別していき、提案をまとめてもらいました。

知らせるのは難しいかもしれませんが、ホームページであれば全町内会のお知らせを掲載できるかもしれません。

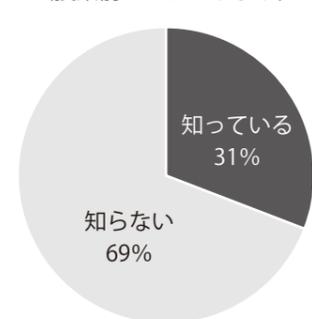
- ### 参加のきっかけづくり
- ・ 田植え体験やお祭りなど、楽しそうな体験イベントを企画する。
 - ・ ラジオ体操を行い、終了後にPR用の飲み物やおしぼりを渡す。

- ### 子どもの学びとして
- ・ 「子ども議会」のように「子ども町内会」を開いて、小中学生に町内会の取組を覚えてもらう。
 - ・ 小中学校で、「町内会と市政(社会科等)」について出前授業を行う。

「同じくらいの年齢の人と話した方が、気軽に質問しやすく意見交換しやすい。そこに、大人の意見も加えることで、より詳しく町内会のことがかかるようになる。」という意見がありました。子どものうちから考える機会をつくることで、町内会への意識が変わるかもしれませんね。

- ### 協力のお礼
- ・ 参加に応じてキャッシュバック(プリペイドカードなど)する。
 - ・ 班長に、町内会から月に1度ミネラルウォーターを配付する。

【町内会の取組を知っていますか?】 (授業前アンケートより)

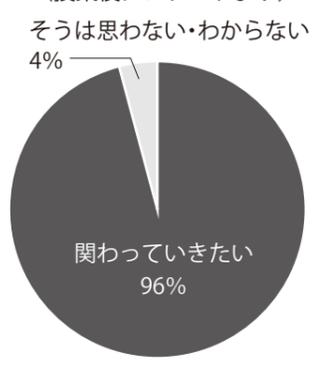


【町内会加入への工夫(初回)】

「頑張った人には、その分の見返りがあるべき」という子どもたちの考えが表れています。地域のために尽くしてくれている人に、感謝の気持ちをもつことは大切なことです。

- ### 子どもたちから市民のみなさんへ
- ・ 町内会は、困っているときに助け合える場だと思います。町内会に加入して、みなさんと安心できるまちをつくれたいと思います。
 - ・ 自分に関係ない。「ではなく、私たちが住んでいる北斗市を、私たち一人一人の手できれいにしていきます。私も、授業を受けるまでよく知りませんでした。授業後、町内会の人たちは地域のことをよく考えてくれていたんだなと思いました。さまざま地域行事も、町内会で考えていると思うと、町内会に入ってみたくありません。

【町内会の取組に参加しようと思いますか?】 (授業後アンケートより)



あとがき

今回の企画を通じて、あらためて子どもたちからコミュニケーションの大切さを学ばせていただきました。自分たちの地域をよくするためアイデアを出し、それに対する問題を提起したり、お互いを認め合った中での意見交換をしたり、それはまさに小さな町内会の役員会のようなものでした。生活の豊かさ、心の豊かさをつくりだす一つの大きな柱は、このように子どもたちがすでに実践している地域社会での連携にあります。

こうした連携による地域の努力の積み重ねが、市の施策とあいまって課題解決に結びつくことになるはずだと思います。

子どもたちが参画することにより、大人たちもあらためて町内会活動を見直す機会が得られるのではとも感じています。

今回の課題についての学びは続いていくことから、今後も連携を密にしていきたいです。

